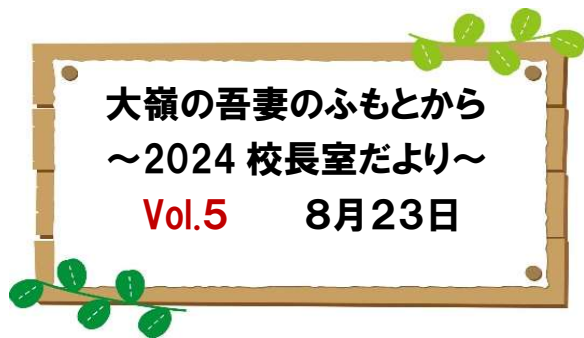




短い夏休みでしたが、生徒の皆さんは、学習や部活動、大会&遠征をはじめ、東北大 OC 参加（1年生）、探究科研修（2年、神戸・天元台）、全国高総文祭（岐阜）、SSH 生徒研究発表会（神戸）など、様々な行事、研修、大会への参加も多く、忙しい毎日を過ごしました。

以下、始業式での式辞をご紹介します。

短い夏休み、しかもまだまだ暑い日が続いている中ですが、大きな事故の報告もなく、今日の始業式を迎えることができたことに、教職員一同安堵しています。

【夏休みを振り返って】

1・2年生は、部活動をはじめ様々な学校行事、あるいは地域の活動やボランティアを通して、自分の視野を広げ、進路を考える夏であったと思います。7月末から学校を離れていろいろな体験、研修をする機会がありました。また、全国レベルでの発表や交流、海外での交流事業に参加して視野を広げた人もいました。有意義な時間を過ごすことができた人も多かったのではないかと思います。学校では、運動部、文化部とも活発に部活動を行う姿が見られました。暑さと戦いながら、ストイックに部活動に向き合っている経験は、皆さんの心と体を一層逞しくしてくれるものと思っています。まだまだ暑い日が続きますが、熱中症に十分注意しながら、自分たちが目指すものに向かって取り組んでほしいと思います。

3年生にとっては、自分の進路希望と向き合い力を蓄えるための夏。学校の内外のそれぞれの場所で学習に打ち込む姿が多く見られました。夏の成果はこれからです。雪が降るころに手ごたえを感じることができるよう、努力を続けてほしいと思います。

さて、それぞれに過ごしたこの夏ですが、イベントで終わってほしくないと思っています。3年生の夏休みの学習もそうです。学校を離れて見聞きした知識や経験を、学びにつなげる、黙々と学習に打ち込んでいることを進路につなげる、あこがれや夢を目標に変える、そのきっかけにしてほしいと思っています。

【2学期のスタート】

さて、今日から新しい毎日の学校生活が再スタートします。1学期の始業式のときに、2年生、3年生には、約束の話をしました。

- ・集団としての約束
 - ・自分自身との約束
- の二つです。

集団としての約束について、「新たな環境で生活をスタートするにあたって大切なことは最初の約束で

す」という話を4月にしました。役割分担、してはいけないこと、してほしいこと、してほしくないこと、授業での約束、友達同士の約束などです。SNS などにおいてルールやマナーを守ることや交通ルールを守るとは社会との約束です。新しい集団で半年近くが経過した今、振り返ってみてください。合唱コンクールや興譲祭も間近に迫っています。授業も再開します。運動部は秋の大会がもうすぐです。安心して、気持ちよく集団生活ができるよう、約束があいまいなところはしっかりと確認して。約束やルールがルーズになっているところはしっかりと議論して。質の高い集団は、それができる集団であると思います。

2つ目は、自分自身への約束です。

この約束とは「目標を決める」ことではなく、自分で決めたことを実行し目標を達成することです。例えば毎朝早く起きて1時間勉強する、週1回走る、毎日英単語を3つ覚える、今日はこの分野の学習を終わらせるなど、どんな内容でもよいでしょう。自分との約束を守ると、自分のやって来たことに自信が持てたり、心の中で喜びが増えたりします。そして、「今」をもっと幸せに感じられるはずです。このような状態を Well-Being な状態といいます。時間が限られているので、深堀はしませんが、皆さんそれぞれが、Well-Being な状態で日々生活できるよう、小さなことでもいいから、自分との約束を改めて考えてほしいと思います。持続的に良好な状態を保つことができれば、日常を前向きに考えることができるようになるのではないかと思います。12月までの4か月、いろいろなことがあると思います。お正月を迎えるころの自分はどうありたいか、どのような力を身につけたいか、自分の近い将来の姿をイメージして、自分との約束を果たしてほしいと思います。そして、それは終業式の際にも話をしたタイムマネジメントにもつながるものです。忙しい毎日の生活に追われるのではなく、今日のこと、明日のこと、1週間のこと、1か月のことを見通して行動することが、タイムマネジメントする力を高めることになります。

最後に

「努力して後悔した人を見たことがない」

「練習して下手になる人もいない」

「人生において無駄な勉強は何一つない」

「何かをして変わった人はいても、何もしないで変わった人はいない」

ステップアップした自分をイメージして、持てる力を出し惜しみせず、いろいろなことに挑戦してほしいと思います。振り返ったときに、いい時間を過ごすことができたと思えるような、2学期になることを希望して、式辞とします。